

10

2022

広報おげと
KETO

笑顔と夢を
未来につなぐまち



ひと、木と、おげと



各地区健康と長寿を祝う集い



9/11 秋田地区



9/15 勝山地区



9/17 置戸地区



9/19 境野地区

9/2 こどもセンターどんぐりバス遠足



お楽しみのお弁当タイム

ひとまち おけと

9/8 置戸小学校マラソン大会



声援を受けながらゴールを目指して

9/13 置小5年生風穴森林散策



絶景!ガレ場からの眺望



Oketo
8.22
TOPICS



置戸中学校1年生、遺跡発掘現場を見学

毎年発掘調査を続けている札幌学院大学の大塚宜明さんを講師に、考古学の魅力や遺跡から置戸の歴史を学ぶふるさと教育が行われました。生徒は、置戸山2遺跡の発掘現場を訪れ、地面にある黒曜石を拾いその特徴などを話し合い、講師から「置戸の黒曜石は新潟県やサハリンでも見つかる」などの説明を受けていました。その後、地層を見学し遺跡の年代などについて学びました。

Oketo
9.4
TOPICS



仲間にタスキ、懸命につなぐ

今年の「町民サイクル駅伝競走大会」には、子どもから大人まで全10チーム50人が出場。選手たちが懸命にタスキをつなぐ姿に、沿道からは大きな声援が送られていました。小学生の部は「ダンクシュート」、一般の部は「中学バスケ&ミニバスコーチ」がそれぞれ優勝し、小学生女子の部で尾崎カナさん(置小6年生)が7分17秒と、ラップ賞の大会記録を更新しました。

山崎亮さんを講師に「まちづくり講演会」が開催

9月10日、コミュニティデザイナーとして全国各地で活躍中の山崎亮さんを講師に招き「町民が主役のまちづくり」と題した講演会が開催されました。第43回置戸町民憲章推進大会ではオンラインによるリモート講演でしたが、今回2回目となる登壇は、置戸町に来町。中央公民館には町民90名が参加されました。

講演では、日々さまざまなメディアで宣伝されるものを購入・消費し続けることを楽しむのではなく、仕事や学びの中に楽しさを見出すことで「消費社会の沼」から抜け出す生き方の提

案がありました。また、自らが手がけたプロジェクトとして「鳥取県智頭町」でのワークショップを通じ、町の事業と町民の人生(ライフプラン)を照らし合わせ、作り上げた総合計画や、高齢者が住みやすいまちづくりを目指す「秋田県秋田市」での健康で楽しく過ごされている高齢者(人生の先輩)に日々の暮らしや生きがい等取材し、その生活スタイルの展示会をきっかけに、地域の高齢者と若者とをつなげた事例が紹介され、人と人のつながり、つながる仕組みづくりの必要性をお話いただきました。





第55回 おけと 夏まつり



第1レース、出走!



体験レースで500kgを曳いたキンクマツソー



素人縁日、子どもたちで大賑わい



射的、よ〜く狙いを定めて

8月21日(日)、3年ぶりに開催された「おけと夏まつり」は好天に恵まれ、約1,200人が来場し飲食コーナーや素人縁日には順番待ちの長い列ができるなど、多くの来場者で賑わいました。

人間ばん馬模擬レースでは、多くの観覧者が声援を送るなか、重量300kgを7人で曳く本番さながらのレースに6組が出場。

置戸発コンサートでは、歌唱部門に4チーム、パフォーマンス部門に3チームが出場し、美声や華麗なダンスを披露。歌謡ショーでは、民謡日本一に2度輝いたシンガーソングライターの朝倉さやさんがアンコールを含め、全7曲を熱唱しました。

フィナーレを飾った花火大会では、夜空を彩る花火が400発打ち上げられ、子どもから大人まで楽しい夏のひとときを満喫していました。

～置戸発コンサート出場チーム～

役場新入職員、かの治療院、置戸フラスカール、カラオケ絆、OKETOリズム体操、友和、フミカナ



抽選番号発表(第1部)

シンガーソングライター朝倉さや歌謡ショー



大勢の人で賑わうお祭り広場

人事異動

9月1日付の置戸町職員の人事異動等をお知らせします。
()内は異動前です。課・係ごとに掲載します。

●新採用



ながい まゆこ
永井 真由子さん
地域福祉センター
包括支援係主任

【出身は】 網走市
【趣味は】 読書、アウトドア
【ご家族は】 夫、子2人
【皆さんへ一言】 1日でも

早く仕事に慣れて、町のみなさんのお役に立てるように頑張ります。よろしくをお願いします。

■総務課

▷総務係主任 長田 こず恵 (森林工芸館工芸振興係主任)

▷総務係主任 猪熊 拓斗 (施設整備課管理係主任兼水道管理係主任)

■企画財政課

▷財政係主任 小西 諒 (地域福祉センター社会福祉係主任)

▷地域情報係兼DX推進係 杉本 晴香 (社会教育課社会教育係兼社会体育係)

■町民生活課

▷医療給付係主任 佐藤 準也 (企画財政課財政係主任)

▷住民生活係 片平 爽太 (農業委員会事務局農地係)

▷住民年金係 椎名 真輝 (総務課総務係)

■産業振興課

▷林業振興係 引地 太一 (町民生活課医療給付係)

■施設整備課

▷管理係主任兼水道管理係主任 佐藤 典幸 (地域福祉センター包括支援係主任)

▷管理係兼水道管理係 高木 麻衣 (町民生活課住民年金係)

■地域福祉センター

▷社会福祉係主任 菅井 椋太 (町民生活課住民生活係主任)

▷社会福祉係 竹田 健人 (産業振興課林業振興係)

■社会教育課

▷社会教育係兼社会体育係 天野 照央 (施設整備課管理係兼水道管理係)

■森林工芸館

▷工芸振興係主任 平岡 俊 (総務課総務係主任)

■農業委員会

▷農地係併任 大垣 光夫

今晚つくれる! 食改さんの かんたんレシピ



和風ロールキャベツ

1人分 314kcal 食塩相当量2.7g

■材料 (2人分)

A [人参1/5本、玉ねぎ1/4個、生しょうが適宜、こしょう適宜、片栗粉大さじ1強、鶏ひき肉200g、卵1/2個]、キャベツ4枚、だし汁2カップ、B [ク

リームシチューの素15g、味噌大さじ2]、牛乳100ml、乾燥パセリ少々

■作り方.....

①人参、玉ねぎをみじん切り、生しょうがはすりおろし、ボウルでAを全て混ぜ合わせる。

②キャベツは湯通しし、水気を切っておく。

③②のキャベツを広げて①の1/4をのせ、巻き込みながら形を整え、つまようじで止める。

④鍋にだし汁を入れて③を弱火で15分煮たら、Bを入れ弱火で10分煮る。最後に牛乳を加え、ひと煮立ちさせて火を止める。

⑤皿に盛り付け、乾燥パセリを散らす。

■ワンポイント.....

牛乳を加えることで濃厚な味わいになり、さらに食後の血糖値の上昇を緩やかにしてくれます。

障がいのある人もない人も 共に暮らしやすいまちのために

町では、障がいの症状に応じて、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を交付しています。令和4年8月31日時点で212人（人口の7.8%）の方がいずれかの手帳を所有しています。

障がいには、さまざまな症状があり、個人によっても違いがあります。障がいを理解して、お互いが暮らしやすい社会となるよう心がけましょう。

主な障がいの特性と具体的な行動例、障がいのある人に関するマークを紹介します。

視覚障がい

全く見えない、見える範囲が狭いなど、人によって見え方がさまざまです。

⇒誘導ブロックや点字ブロックの上や周辺に障害物を置かない。

聴覚障がい

全く聞こえない、雑音が混ざるなど、人によって聞こえ方がさまざまです。

⇒長文や複雑な表現は控えて、短文で簡潔な情報で伝える。

肢体不自由

手や腕（上肢）、足や脚（下肢）、体幹に障がいがあり、体を思うように動かせない人などがいます。

⇒手動式のドアの開閉を手伝ったり、通行の妨げになる障害物を取り除く。

精神障がい

統合失調症やうつ病などのさまざまな精神疾患により、日常生活や社会生活のしづらさを抱えています。

⇒不安を感じさせないように、穏やかな口調で声かけをする。

知的障がい

発達期に知的機能の障がいが見られ、社会生活への適応のしにくさがあります。

⇒ゆっくり、ていねいに話し、絵や写真などを使い、わかりやすく説明する。

内部障がい

心臓、呼吸器、腎臓、膀胱、直腸、小腸、肝臓、HIVによる免疫機能障がいで、環境の影響を受ける人がいます。

⇒外見からはわかりにくい病気や障がいのある人もいることを理解する。

障がい者のための 国際シンボルマーク



すべての障がい者を対象とした世界共通のシンボルマーク。駐車場などでこのマークを見かけた場合は、障がい者の利用への配慮にご理解とご協力をお願いします。

身体障がい者標識 (四つ葉マーク)



肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマーク。マークの表示は努力義務となっています。

ハート・プラスマーク



身体内部に障がいのある人を表しています。このマークを着用している方を見かけた場合には、内部障がいへの配慮についてご理解とご協力をお願いします。

■お問い合わせ 地域福祉センター社会福祉係 (☎ 52-3333)

地域おこし協力隊活動日誌 \人間ばん馬(オコオココシーズ)/

地域おこし協力隊員 斉藤 弓恵

みなさんこんにちは。地域おこし協力隊の斉藤です。先々月、3年ぶりに開催された「第55回おけと夏まつり」。今年は規模を縮小しての開催でしたが、いろいろなことを体験させていただきました。

模擬レースとして実施された人間ばん馬では、協力隊チーム（男性3名、女性5名）で出場させていただきました。300kgの重さは想像をはるかに超えて、本当に重かったです。そして、この場をお借りして地域のみなさんにお礼を言いたいです。挑んではみたものの、少しずつしか動かせず何度も立ち止まりました。それでも2つ目の山を登りきるところまで白旗を上げず

に待っていてくれた主催者の方々、声援を送り続けてくれた地域のみなさんや子どもたち、本当にありがとうございました。また、白旗が上がったあと、声援に駆けつけ協力隊と一緒にゴールまで走り切ってくれたこと、心から感謝いたします。まるで、協力隊の活動そのもののようにも感じ、それがとても嬉しく、思い出に残る貴重な夏まつりとなりました。

現協力隊8名はこれからも地域のみなさんとともに活動していけたらと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。



おけと夏まつり月記

置戸町長 深川 正美

朝晩の冷え込みに秋を感じる季節となりました。

「おけと夏まつり」をはじめ、三年ぶりにイベントが開催できるようになり、少しずつではありますが元の日常が戻ってきていると感じております。特に夏まつりでは、若者が運営の中心となり汗を流す姿や子どもたちの笑顔あふれる姿に、町も活気立ち、私自身も元気をもらいました。

しかしながら、一方で、新型コロナウイルス感染症の第七波により町内福祉施設でもクラスターが発生しました。ご家族や施設職員、医療関係者、保健所などのご協力により収束することができました。感染症の拡大防止・収束に立ち向かい、ご尽力いただいた施設職員の皆さまに心よりお礼申し上げます。

まもなく、オミクロン株対応のワクチン接種が始まります。引き続き感染予防の励行と合わせて、十分ご理解の上で自発的な接種をお願いいたします。

先日、札幌出張の列車内で論語「過（あやま）ちを改（あらた）めざるこれを過（あやま）ちという」を読んで、まさしくそのとおりであると思いました。過ちを起こしたくない、過ちを認めたくないと思うのが人間です。しかし、そこからは新しいことは起きない、そして進歩することもできないと思います。

令和四年度も後半にさしかかります。過ちがあれば改め、コロナ禍の中であっても町民の皆さまのご意見をいただく機会を作っていきたいと思っております。

どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

皆さまのご意見、アイデアをお聞かせください

『町長への手紙』

町長への手紙は、町民の皆さまの率直なご意見を伺い、町政に反映しようとするものです。

町政に対するご要望やアイデアなど、お気軽にお寄せください。
お寄せいただいたお手紙は、すべて町長が拝見し、必要に応じて回答を差し上げるとともに、今後の町政運営の参考とさせていただきます。

(お寄せいただいたご意見等は、プライバシーに配慮し、内容の要旨のみを広報紙等で公開させていただく場合があります。)

なお、以下の内容については回答を行いませんので、投稿はご遠慮ください。

- ① 個人的な問題や特定の個人や団体等を誹謗、中傷する内容
- ② 個人や団体等の営利活動に関する内容
- ③ 政治活動に関する内容
- ④ 思想、信条及び宗教に関する内容
- ⑤ 本来町が回答すべき内容でないと判断される内容
- ⑥ その他「町長への手紙」としてふさわしくないと認められる内容

料金受取人払郵便

北見局承認

796

差出有効期間
2023年9月
30日まで
(切手不要)

0 9 9 - 1 1 9 0

置戸町字置戸181番地
置戸町役場

深 川 町 長 行



ご住所		
お電話 ()		
お名前		
年齢	性別	ご職業
歳		

※必ず、お名前・ご住所をご記入願います。無記名のものはお取り扱いできません。

※太線をハサミで切り離し、こちらを外側にして2つ折にした後、のり付けして封筒にしてください。

次のいずれかの方法で、皆さまのご意見・アイデアをお聞かせください。

郵便

… この用紙をポストに投函してください。※切手は不要です。

ファックス

… 0157-52-3353



わたしの提案

について

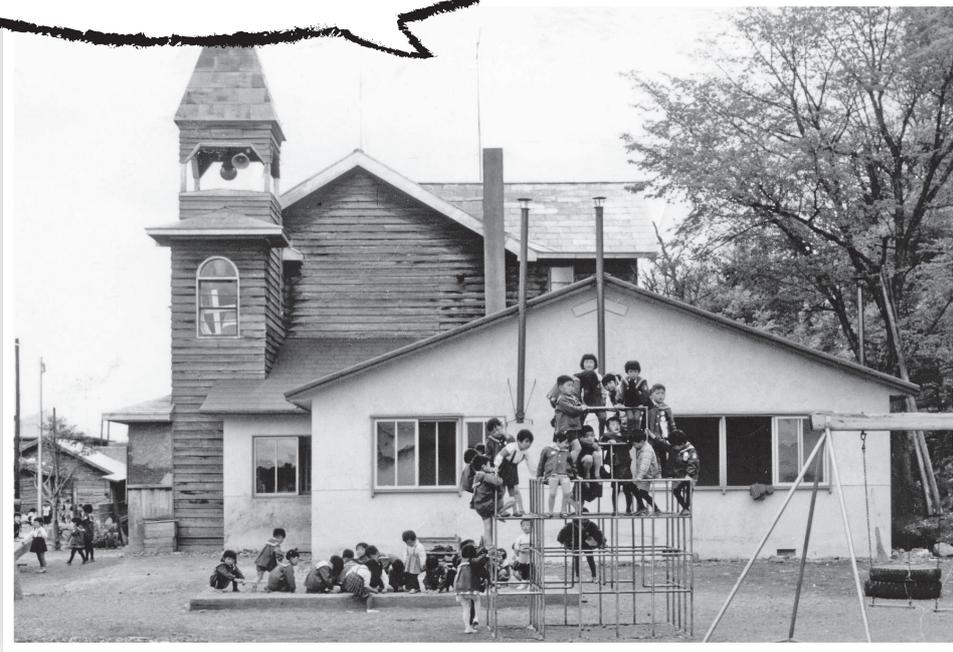
（最後に折って、閉じてください）
のりしろ

（最後に折って、閉じてください）
のりしろ

（最後に折って、閉じてください）
のりしろ

お問い合わせ 企画財政課 地域情報係 (☎52-3312)

いつの時代も子どもたちは元気に
遊んでいます (昭和40年ごろ)



あの頃

— 写真で語る
おけと —

移転新築を控えた置戸教会とそこでの幼児
保育についてご紹介します。

農村伝道神学校を終えた野口重光は故郷の置戸へ帰り、日本基督教団置戸教会を設立しました。教会堂は伊藤組の土地を借りて建設され、営林署から払下げを受けた立木から得た建築材で建てられています。基礎工事の際には教会員の協力もあり、昭和27(1952)年に現在地に建てられました。その後、何度か増築や改装を繰り返して現在に至ります。置戸教会は教会活動の拠点のみならず、開設当初から幼児保育の活動も続けてきました。置戸保育所として常設の保育施設として始まり、昭和46(1971)年に現在の西町町内に移転したのは、旧施設を利用して乳幼児保育も行うなど精力的に活動を続けていました。

昭和52(1977)年には児童福祉法に基づいた認可保育所となり、経営主体を社会福祉法人信愛会に変更、同時に名称も置戸幼児学園からこじか保育園と改め新たなスタートを切りました。現在は各地区の保育所とともにこどもセンター「どんぐり」に統合され、置戸の児童福祉を担っています。

■ご出生おめでとうございます

○小山田好貴 眞代 女児 吹(すい) 境野中央 8/25

■ご結婚おめでとうございます

○神長 裕一・柴田 晃子 若木 8/8
○渡部 光一・酒井 マナ 宮下 8/8

■お悔やみ申し上げます

○松井 奈保 91歳 若木 7/29
○鈴木 君子 93歳 心和 8/8
○宮嶋 幸子 86歳 秋田 8/16
○伊藤 一子 69歳 常楽園 8/21
○佐藤 庄市 90歳 中里 8/24
○谷崎 喜久子 94歳 心和 8/29

喜びと悲しみ(敬称略)

人の動き

●世帯数 1,408世帯(±0世帯)

●人 □ 2,710人(-2人)

●男1,259人(+2人) 女1,451人(-4人)

令和4年8月31日現在()内は7月末比

置戸の情報をインターネットでチェック!



人と、木と、おけと



ホームページ



YouTube

■今月号の表紙・裏表紙：8月21日、3年ぶりに開催された「第55回おけと夏まつり(人間ばん馬模擬レース・打ち上げ花火大会)」(多田和弘氏撮影)

